

④ トワイライト研修

学力向上、いじめや不登校などの問題行動等、困難さを増す保護者対応、体罰など、教育現場を取り巻く課題は様々であり、それらの課題を解決していくために教職員のスキルアップが求められている。教員のニーズに応じた自主研修活動を支援するために勤務時間外にトワイライト研修を実施した。

第1回 平成29年1月13日(金)

講師 大阪体育大学 特任教授 岡澤 祥訓 氏

**テーマ 「運動部活動指導や体育の授業におけるコーチングの可能性と限界
～運動有能感の視点から～」**

(※コーチングに関する研修と合わせて実施した。)

【内容】

- 1 コーチングとティーチング
 - ・目標達成の方法や考え方をまとめるプロセスを選手が自ら発見し、決定するというメンタルトレーニングの目的と、コーチングの目的は類似している。
- 2 実力を高めるためのメンタルサポート
 - ・体罰のような外発的動機付けではなく、生徒が自発的に練習するように働きかける必要があり、内発的に動機付けられた選手を育成することが大切である。
- 3 運動有能感を高めるために
 - (1) 評価は相対評価ではなく個人内評価をする。
 - (2) 指導行動としての「ほめる・怒る・励ます」などの工夫が有効である。



第2回 平成29年2月28日(火)

講師 関西学院大学 教授 中村 豊 氏

テーマ 「キレル子どもへの対応 ～ニーズに応える生徒指導～」

【内容】

- 1 生徒指導について
 - (1) 生徒指導とは
 - (2) 生徒指導の目的
- 2 社会的自立という視座
 - (1) 社会人基礎力
 - (2) 学級の等質性の教育的な意義
- 3 問題行動と児童生理解
 - (1) 育てる教育相談の考え方
 - (2) スキル教育とは

